



阿武山たつの子 認定こども園  
富田直子

実践の場所となった園庭



### きっかけは論文。

私は2年前、科学する心を育てる保育実践論文に応募しました。「園庭は色々な動植物が暮らす自然環境の一部。自分たちもその中の一員として遊んでいる。自然に親しみ、感じる、知りたい、また会いたいと願う、そして続けていく優しさにつなげていきたい。」という思いが、「いのちまんなか」に通じると考え、ヒントをもらい保育実践を続けていくために、保育実践ゼミナールに応募しました。

### 3つの問題に直面！ ①共有 ②オリンピックを見ての思い ③夏の暑さ。

職員全体会議での共有

7月、ぐうたら村で講師のゴリさんや3期生の仲間と一緒に体を動かしながら多くを学びました。自分の園でも出来ることがたくさんある、子どもたちのワクワクにつなげたい…。やる気満々で園に戻り、まずは職員に上手く共有したいと思いましたが、一人黙々とやるのが得意な私にとって、一番苦手なこと。園長先生、管理職の先生方に相談し、職員に共有する時間をもらいました。



結果は、上手く伝えられるか不安だった私に、むしろ先生たちの方から「園庭の好きなどころ」「やってみよう」と伝えてもらうことができ、とても力づけられました。他にも、開幕したパリオリンピックの、圧倒的な規模の「人間まんなか」にショックを受けました。研修で地球規模の問題や環境の限界を知る前の私には無かった感覚、「私が一人頑張っても、何にもならない」という無力感を抱きました。また、熱中症警戒アラートが続き園庭に出られない日々にも焦りを感じました。

### 変化は自分から。できることをやる、待ってみる、一緒にやる。

とにかく出来そうなことをはじめよう。法人内の研修（大地の再生、森の幼稚園、他）や園芸の本、youtube など、関連することを調べたり、高槻しいたけセンターや近隣で環境整備をしている業者さんに、廃材が欲しいとお願いしたりしました。すぐに実践したい気持ちはありましたが、「誰かと一緒に」を大切に、機会を待って声を掛け、一緒に取り組むことを心がけました。また、夏が終わり涼しくなると、次第に作業もはかどるようになり、少しずつ出る手応えに、自分でも楽しくなってきました。

# 楽しく

実践のはじまりは…

一番に、楽しくすることを考えました。子どもたちがワクワク



ワクワクするような、分かりやすく楽しい工夫はないか?

子どもたちとのやりとりのはじまりは、論文にも記した 10 匹のカブトムシのこと。「人の手で飼う」ことに「なぜ?」と問い、「カブトムシはどうしたいか?」を子どもたちと一緒に考え…結果どうなったのか!?

夜、飼育ケースを園庭に置いてふたを開け、ビデオで撮影すると、カブトムシたちが自分で飛び出して木に登り、飛んでいく瞬間が撮影できました。カブトムシに命があること、その命が自分の力で、行きたいところに飛んでいく様子を見て、「すごい!」と話す子どもたち。私からは「園庭を、いろいろな命が、自分で生きられる場所にしていきたい」と話しました。

- ・樹液を吸いに行ったのかなあ…?
- ・家族に会いに行ったのかなあ…?
- ・メスに会いに行ったのかなあ…?
- ・クワガタと戦いに  
行ったのかなあ…?



飛び立った後を想像する。自分たちの園庭や環境を、「いいなあ」と思える気持ち。

「SDGs時代の保育実践って?」という問いに、「幼い人(地球危機加速時代を生きる人)が、この世界は楽しいなあ、美しいなあ、不思議だなあ、愛おしいなあ、この世界に生まれて来て良かったなあと感じ、この世界を深く信頼することが出来る保育実践を」と話すゴリさん。子どもたちの表情や言葉が重なって、私も頑張って実践していこうと思いました。

## 紙芝居風パワーポイント「土の中の三人ぐみ」



ゴリさんがミミズ・ヤスデ・ダンゴ虫のことを「分解者三種盛り」と言っていたことをヒントに、紙芝居風のパワーポイントを作って見せました。園庭で、「三人組のやつや!」「…ぶんかいしてる!」と声を上げる子どもたち。ダンゴ虫をカップに入れて放置することが減り、落ち葉のある所に逃がしてくれるようになりました。



## トンカチのこぎり体験・名前を考えよう!

ゴリさんは子どもの前でもハサミやのこぎりをどんどん使うとのことで、実践すると、大人の道具を使いたい子どもたちが集まりました。廃材のシイタケの原木を、半分に切って積んだり、たたき割ってうねの下地に敷いたりしました。また、コンポストの名前を募集し、「**つちべー**」に決まりました。



# (めざせ)0円 捨てない、買わない

ぐうたら村では、土や肥料、野菜のタネや苗を買ったりしません。買う、使う、捨てる、ではなく、手を掛けて、「戻す」ことをぐうたら村で教わり、私も、これまで買うことが当たり前と思っていたことを見直そうと思いました。園にあったたくさんのプランター。野菜くずと米ぬかなどを重ねて、古い土をリサイクル。畑に戻して使う取り組みをしています。また、イチゴの苗を増やしたり、さし木をしたり、種を集めたりしています。かまぼこ板で、園内の木の名札も作りました。



研修の実践、木の囲いと、うね作り。公園や、地域、園庭で出る廃材で取り組みました。米ぬかや、パックに残る納豆菌、やきいもをした時の灰なども活用しました。ゾーニングすることで、向こう側に息づく命を見守る…境界線で子どもたちがいろいろな命に出会い、面白いエピソードが生まれることを期待しています。



## みんなで ①先生たちと

今回私が大事にしたかったことは、一人でも多くの人と一緒に、「いのちまんなか」の一步をはじめることでした。色々なことに少しずつ取り組みましたが、たくさんの人の理解と協力がなくては、どれもかなわなかったし、これから先も続かないと思っています。

まずは職員。担当クラスの保育や行事、事務作業で毎日大忙しのなか、一緒に汗を流してくれ、カメラを向けるととてもいい表情。やるなら全力、たつの子の先生たちの事を、本当に自慢に思っています。

まずは園長先生、事務所の先生に相談。



絵の得意な先生に看板のイラストを依頼。



↑土の再生や廃材の搬入 ↓暑くなか快く力を貸してくれました。



園庭の樹木に、一つひとつ名札を作成。



家庭菜園からイチゴの苗を提供↑

## ②地域のみなさんと

近隣でお仕事や環境整備をされている方々、子育て支援センターの子どもたちと保護者、造形指導の先生などなど。たくさんの人たちに協力して頂き、たくさん教えてもらいました。感謝しています。

剪定、草刈り、清掃で出た落ち葉や、シイタケ栽培の廃材など、提供に協力してくれた方々。つちペーの蓋も作って頂きました↓



子育て支援センターに来られた親子と、  
植ええや土づくり

種や球根を分けてくれた  
造形指導の先生。いつも  
草花の美しさを教えて  
くれます。

イチゴも蘭も、園庭で育つと教えてくれた専門家

## ③子どもたちと

土の再生、堆肥作り、うね作り、看板の色塗り、イチゴの植え替え。トンカチで廃材を細かくしてくれたり、カブトムシの幼虫を持ってきてくれたり…。園庭で、沢山の命に出会えることを楽しみに、興味を持って「やりたい!」と手を動かしてくれた、主に345歳児の子どもたち。どの取り組みもまだ、たった一歩踏み出したところ。子どもたちの発見や興味に寄り添いながら、物語が生まれることを願い、実践を続けていきます。



つちペー温度チェック

ここ、  
あったかい!

## ④掲示板で来園者に報告

2月8日。SONY 本社での実践発表当日、私の園では一年を締めくくる行事、作品展でした。園庭に実践のドキュメンテーションを掲示し、保護者をはじめとする来園者に見ていただきました。給食の豚汁を味わいつつ、目を止めていただけたようです



# 最終発表を終えて

## 一人称で語ることを大切に

3期生たちの発表を聞きながら、各園で実践する姿が目に見えました。

Zoomで繋がり、悩みを共有したりアイデアを出し合ったりして、一緒に取り組んできたからなおさら、胸にグッとくるものがありました。また、それぞれの実践を広い心で受け止め、力強く応援してくれるゴリさん、大豆生田先生の言葉の数々が私の胸に刺さりました。「どうせ私なんて一人でやっても…で止まるのが最大の障壁」「行動するために学び知る」「これまでの当たり前を謙虚に疑い、勇気をもって仲間呼びかけ行動する」そして何度も出てきた「一人称」という大豆生田先生の言葉。「人であれ物であれ自然であれ、『私が(子どもであれ、保育者であれ)』親しみを持って関わるのが全世界を豊かにしていく基盤」という学びがありました。これからも続く実践の中で、「〇〇ちゃん」の表情やしぐさ言葉のなかに、その子が身の回りの人、物、環境、そして「いのち」を、「いいなあ」と感じられることを、『私の』喜びとして見出していきたいと思っています。

SONY本社にて、緊張の実践発表！



記念撮影！



つちべー、おやすみ…。

## To be continued & Just do it !

地球規模の大きな問題がすぐそこに迫り、取り組む動きが加速する今、最終発表のときに3期生みんなが掛け合った「Just do it! (何かやる・とにかくやる)」という言葉が、私を明るい気持ちにさせてくれます。引き続き、活動や行事、新年度準備などで忙しい日々が続いていますが、春を目前に園庭の命たちにも少しずつ変化が見られます。3期生のその後の活躍にも刺激を受けながら、私も負けないう、ここ阿武山たつの子認定こども園で、子どもたちや保護者、先生や地域のみなさんと一緒に、少しずつ実践を続けていきたいと思っています。

プランターで再生した土、どうなったかな…？



みかんの皮を活用



あんなに入れたお野菜がない！

イチゴの植え替え



つちべーの堆肥を畑に戻す



SDGs部、始動！  
(ティッシュ・ペーパータオルを減らす取り組み)



みんなで種まき

ぐうたら村でもらった  
ジュンベリーの新芽  
(芽が出て来ました！)

